
市立岸和田市民病院 新改革プラン

(平成 29 年度～平成 32 年度)

平成 29 年 3 月

岸和田市

はじめに

市立岸和田市民病院は、市民の暮らしと命を守り安心をもたらすための礎として、地域医療を維持・発展させる責任が課されていることを認識し、「がん医療」、「救急医療」、「急性期医療」を三本柱に、岸和田市を中心とした泉州地域の標準的かつ高度医療を提供する地域中核病院の役割を果たしています。

また、市民に対して健康教育等を提供するとともに、職員や地域医療従事者の医療水準の向上に資するため、教育病院としての役割にも注力してまいりました。

これまで、地域における基幹的な公的医療機関として、平成 21 年 3 月に策定した「市立岸和田市民病院改革プラン」に基づき、公立病院としての果たすべき役割を明確にし、その求められる役割に対し、常に企業としての経済性を発揮できるよう、経営改革に取り組んできました。

その結果、平成 21 年度まで赤字となっていた経常収支については、平成 22 年度に単年度で黒字を達成することができ、以降は毎年、経常黒字で推移しています。

しかしながら、医師の確保は引き続き重要な課題であり、また平成 28 年度の診療報酬改定でも実質マイナス改定による医療費の公的負担の抑制が進められています。さらに、人口減少や少子高齢化が急速に進展する中で、医療需要が大きく変化することが見込まれ、地域ごとに適切な医療体制の再構築に取り組むことがますます必要であるとされており、今後も病院を取り巻く環境は一段と厳しさを増すことが予想されます。

今回、このような中で策定した「市立岸和田市民病院新改革プラン」は、本院が貢献できる社会的な課題を明確化し、病院経営のさらなる改革に向けた基本方針です。職員一人ひとりがあらたな基本方針のもと、日々その実践を心がけながら、職員一丸となり、これを着実に実行するよう努力し取り組んでいきます。

岸和田市長

目 次

基本理念	1
基本方針	1
病院概要	1
改革プラン策定の趣旨	4
地域医療構想を踏まえた役割の明確化	5
1. 地域医療構想を踏まえた本院が果たすべき役割（32年度末における具体的な将来像）	
2. 2025年（平成37年）における本院の具体的な将来像	
3. 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	
4. 一般会計による負担のあり方	
5. 医療機能等指標に係る数値目標	
6. 住民の理解のための取り組み	
経営の効率化	10
1. 経営指標に係る数値目標	
2. 目標達成に向けた具体的な取り組み	
3. 平成32年度までの収支計画	
再編・ネットワーク化	14
1. 本院の状況	
2. 泉州二次医療圏内における状況	
3. 地域完結型の医療を提供するために	
経営形態の見直し	16
点検・評価・公表等	17
1. 点検及び評価	
2. 新改革プランの進捗及び達成状況の公表	
付属資料	
外部分析	18
内部分析	22
地方独立行政法人化に関する検討報告（平成27年12月）	26